

研究対象者の募集

「パーキンソン病患者に対するアロマセラピーの評価指標の検討～慢性疼痛の軽減とQOL向上を目指して～」

研究の概要

パーキンソン病の原因で、痛みがある患者さんに対して、アロマセラピーによって痛みが和らぐかをお聞きする研究です。この研究に用いるアロマセラピーは、植物から抽出した100%ピュアエッセンシャルオイルを使用した芳香療法であり、補完代替療医療（CAM）です。国内での承認が得られていませんが、先行研究では、パーキンソン病の40%が、治療するために少なくとも1つの補完代替療医療（CAM）の使用が報告されていて中でも、パーキンソン病の疼痛や不快感に対して、英国や米国においては、非薬理的補完代替医療として最も使用されているのはアロマセラピーとマッサージであったと報告されています。アロマセラピーの嗅覚刺激を行うことで、嗅覚障害があっても疼痛軽減をしようとされています。

研究協力の対象者の条件

以下の①～④のすべての該当する方

- ① 年齢：20歳以上の方、 ②性別：不問、 ③パーキンソン病 ④疼痛のある方

内 容

以下の1～3のいずれかを実施していただきます。

1. 芳香浴

自宅で実施6回/週と外来に受診時(1回/週)にアロマセラピストから芳香浴を実施される。

2. マッサージ

10ml ホホバ油を使用し、ご自宅で痛みのある部位に塗ります(6回/週)と外来に受診時(1回/週)に研究者から20分間の手でマッサージをさせていただきます。

3. アロママッサージ

3%レモングラス精油入りのホホバ油10mlを使用して、自宅で疼痛部位に塗布(6回/週)と外来受診時(1回/週)に研究者から20分アロママッサージを実施される。

どの実施かは担当研究者からの説明があります。

その他、外来受診時に通常診療の検査に加えて研究のために実施する事前質問票やインタビュー、簡易的な脳波測定等の検査もあります。

募集人数 6名 (研究対象者が確定した段階で募集を締め切らせていただきます)

募集期間 2022年5月25日～2023年3月30日

お名前や個人情報が口外されたり公表されることはありません。

必要なデータや情報のみを集計し、個人情報管理には十分に配慮致します。なお、個人情報などの管理方法を含むこの研究の実施については、当院の臨床研究審査委員会の審査による病院長の承認(No21A-095)を得ています。ご協力頂いた方には、謝礼5000円をご提供致します。

研究にご協力いただける方は、メールアドレスでご連絡ください。

★連絡を頂く際には、①お名前、②連絡先(メールアドレス)を記入下さい。

★研究者から研究概要の説明の日程調整のためにお返事させていただきます。

<問い合わせ先>

連絡先担当者：青山 泉 (あおやま いずみ)

聖路加国際大学大学院 看護学研究科博士後期課程 ニューロサイエンス看護学

東海大学医学部専門診療学系漢方医学 客員講師メールアドレス：20dn002@slcn.ac.jp

電話番号：東海大学医学部付属病院脳神経内科 0463-93-1121 (代)

担当医師：永田 栄一郎